

教育改革が進んでいるらしいけど、 いったいどうなるの？

教育改革の「いま」を知る 4つのKeyword ミニ解説

大学入試が変わるのはなぜ？

2020年、大学入試センター試験が廃止されます。新たに導入される「高等学校基礎学力テスト（仮称）」「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」。



後者については、正解のないことがらについて、その論拠を示しながら考えを述べる形式になると言われています。これはなぜか？ 世界を舞台に活躍できる人材が求められるいま、課題解決能力、コミュニケーション能力などが必要になるからです。大学入試改革は、社会の変化に応えるための改革なのです。

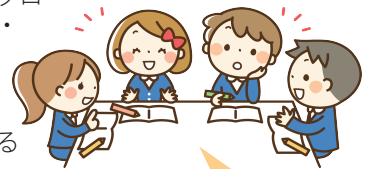
産業構造の変化から考える教育

全国交流フェスタで学ぶ！

日本と取り巻く社会の変化、そこで求められる人材像と教育とは？ 背景にある産業構造の変化を経済産業省からも解説！

アクティブラーニングって？

学校の授業と言えば、先生が一方向的に話をする講義形式のものを思い浮かべますが、この授業の形式も、変革が求められています。そのキーワードが「アクティブラーニング」。これは、子どもたちが主体的に課題を見つけ、調べたり、友達と学びあったり議論したりしながら学んでいく手法です。教科の学習内容の理解はもちろんですが、学ぶプロセスを通して、思考力・判断力・表現力などを鍛えていくことができる、これから求められる力を養うことのできる学習手法と言えます。



藤原和博氏による講演！

全国交流フェスタで学ぶ！

これからの学びがどう変わっていくのか、その具体的な姿や事例をじっくり見てみましょう。



©IHA

学習指導要領が変わるの？

学習指導要領とは教育課程編成や教科書の基盤となるもの。平成30年（2018年）告示に向け、学習指導要領の改訂も検討が進んでいます。ここでも、改革のポイントとして「知識・技能」に加え「思考力・判断力・表現力」や「どのように社会と関わり人生を送るか」があげられています。高校のインターンシップ充実の必要性や、アクティブラーニングの導入も改訂の目玉となっております。



変化する社会の中で生きるために必要な力をどう身につけるのかが問われていると言えます。そのため、改訂にあたっては、学校教育を学校内に閉じずに社会と共有することの必要性もあげられています。

全国交流フェスタで学ぶ！

学校教育 × 地域・産業界、多方向から考える パネルディスカッションと教育トレンド最新情報！

企業経営者から見た人材育成、グローバル化する社会に求められる人材像、そして、いま、学校教育に求められる転換とは？いまの教育改革についての理解を深めます！



講師は中教審委員の生重が担当

地域が学校を支える？

教育改革と地域社会、関係ないのでは？と思うかもしれませんが、この様々な教育改革を進めるためには、地域・産業界の関わりも、実はとても大切です。なぜなら、子どもたち自身が「どのように社会・世界と関わるか」と向き合うには、学校の学びと実社会のつながりを実感しながら学ぶことが必要だからです。そしてこれは、学校・教員だけでなし得ることはありません。学校と地域の協働が必要。コミュニティスクールもそのための仕組みの一つですが、保護者として、企業人として、大人にできることも、いろいろありそうです。



5/14は
新大阪へ！

「教育改革のいま」を知り、「これからの教育」を考える大人のためのイベント。
あなたにできることを、探してみませんか？

詳しい内容は
チラシまたは
QRコードから！

2016 キャリア教育コーディネーター

全国交流フェスタ in 大阪

Change, Chance, Challenge! ~よってたかって、みんなで作るキャリア教育~



【キャリア教育総合情報サイト】 <http://www.human-edu.jp>

Contribution of Career Education Coordinators
キャリア教育コーディネーター
ネットワーク協議会